

## 2023年度 社会連携・地域貢献活動報告【社会連携機構】

実 施 者	帝塚山学院大学基盤教育機構
活 動 名	2023年度成人大学講座（前期）「学ぶことの面白さ・楽しさ」
イベント・番組・新聞雑誌名	成人大学講座
主 催 者 ・ 発 行 元	大阪狭山市立公民館・帝塚山学院大学社会連携機構共催
概 要	<p>人生100年時代を迎える中、それを実り豊かなものにするためにも、生涯を通じた「学び」が重要になりつつあります。近年では学ぶ内容だけではなく、学ぶ方法や学びの場も時代に応じて多様化しています。この講座では、現代の「学び」の諸状況を、各担当者がそれぞれの専門分野から取り上げます。</p> <p>5月13日 「教える」から「学び」へ～自ら学びつつ育つ主体に～ 川辺 勉 氏（帝塚山学院大学基盤教育機構教授）</p> <p>5月20日 家庭での性教育/学校の性教育 土田 陽子 氏（帝塚山学院大学基盤教育機構教授）</p> <p>5月27日 新しい心理学の知見 原邊 祥弘 氏（帝塚山学院大学基盤教育機構専任講師）</p> <p>6月3日 健康と運動 登 純一郎 氏（帝塚山学院大学基盤教育機構教授）</p> <p>6月10日 多様な学びの場としての図書館 渡邊 隆弘 氏（帝塚山学院大学基盤教育機構教授）</p>
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023年5月13日、5月20日、5月27日、6月3日、6月10日

実 施 者	帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科
活 動 名	2023年度成人大学講座（後期）「現代生活と身近な健康管理」
イベント・番組・新聞雑誌名	成人大学講座
主 催 者 ・ 発 行 元	大阪狭山市立公民館・帝塚山学院大学社会連携機構共催
概 要	<p>まだまだ油断できませんが、コロナもやや終息し、だんだん普通の生活が戻ってきました。旅行や 食事など出かける機会も増えてきました。ところが、グローバル化の現代は、いつ感染症が拡大するかもわかりません。今回のパンデミックでも基礎疾患と重症化の関係が取りざたされました。常日頃の生活の中で、健康を意識することが大事です。食物の機能や栄養、安全など、様々な観点から、自分にふさわしい知識を蓄え、身近な健康管理に活かしましょう。</p> <p>10月21日 魚介類を食べよう：海と魚の話 齋藤 洋昭 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>10月28日 免疫栄養学について 西川 禎一 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>11月11日 糖尿病とはどんな病気？ 細川 雅也 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>11月18日 体内時計と食生活について 辻本 洋子 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>11月25日 みなさんナニをみて食べ物を買っておられますか？ 足達 哲也 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p>
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023年10月21日、10月28日、11月11日、11月18日、11月25日

実 施 者	比較文化研究所
活 動 名	2023 年度国際理解公開講座（前期）「分断」
イベント・番組・新聞雑誌名	国際理解公開講座
主 催 者 ・ 発 行 元	公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団・帝塚山学院大学社会連携機構共催
概 要	<p>世界はさまざまな課題を抱え、そこには分断が起きている。2023 年の世界経済フォーラム、いわゆるダボス会議では「分断の流れを食い止めるとき」というテーマでディスカッションが行われた。いったい、どういった分断が起こっていて、どのような問題がそこにあるのだろうか。分断は、意図する者により恣意的に行われるが、当事者でなくとも無意識のうちに分断に加担させられていることもある。政治的意図を持った宣伝により考えを押し付ける工作、分断により民族の対立を招き、弱体化を狙う支配層、マスメディアを使ったプロパガンダなどが分断を進める。そこには、資本主義と社会主義、米中の対立などの国家間や民族間の紛争、ブロック化する経済、リベラルと保守、フェミニズム運動、LGBT 問題、BLM 運動など、さまざまな分断の構造が存在する。本講座では、いくつかの分断の状況から、そこに横たわる問題を考え、問題提起の機会としたい。</p> <p>【第 1 回】分断される日本、世界 - メディアと権力の距離から考える 鈴木 敬吾 氏（帝塚山学院大学基盤教育機構特任教授）</p> <p>【第 2 回】「中華」政策による民族の分断- モンゴルを事例に 小長谷 有紀 氏（国立民族学博物館 名誉教授、独立行政法人日本学術振興会 監事）</p> <p>【第 3 回】現代日本社会の分断 吉川 徹 氏（大阪大学大学院人間科学研究科教授）</p>
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 7 月 15 日、7 月 22 日、7 月 29 日

実 施 者	比較文化研究所
活 動 名	2023 年度国際理解公開講座（後期）「信仰と宗教」
イベント・番組・新聞雑誌名	国際理解公開講座
主 催 者 ・ 発 行 元	公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団・帝塚山学院大学社会連携機構共催
概 要	<p>世界の主要な宗教には多くの信者がいる。例えば、キリスト教は 20 億人以上、イスラム教は 16 億人以上、ヒンドゥー教は 10 億人以上、仏教では 5 億人以上の信者がいると言われている。これら主要な宗教以外にもさまざまな宗教が存在し、信仰や宗教は人々を支え、国家の成り立ちや社会にも深い影響を与えている。しかしながら、宗教をめぐる争いが絶えることがない地域がある。最近では、パレスチナの武装組織ハマスがイスラエルを攻撃し、今もその戦いが続いている。宗教はどのように人々の行動に影響を与えているのだろうか。また、どのような問題が宗教によって起こっているのだろうか。この公開講座では、信仰と宗教に焦点を当て、さまざまな宗教を専門とする研究者の方々にお話しいただく。</p> <p>【第 1 回】信仰と宗教－信頼と家族 猪瀬 優理 氏（龍谷大学社会学部教授）</p> <p>【第 2 回】韓国ドラマ・映画に見る韓国宗教の世界 古田 富建 氏（帝塚山学院大学リベラルアーツ学部教授）</p> <p>【第 3 回】分断されるパレスチナ・アラブ人－イスラエル国内とパレスチナ自治区 菅瀬 晶子 氏（国立民族学博物館超域フィールド科学研究部准教授）</p>
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2024 年 3 月 2 日、3 月 9 日、3 月 16 日

実 施 者	帝塚山学院大学人間科学部心理学科
活 動 名	2023 年度公開講座「最新！心理学への招待」
イベント・番組・新聞雑誌名	公開講座
主 催 者 ・ 発 行 元	帝塚山学院大学社会連携機構（後援：堺市教育委員会）
概 要	<p>6 月 20 日 体験しよう心理学ー心理調査 玉越 勢治 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>7 月 4 日 日常生活における「失敗」の心理学 大本 浩司 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>7 月 11 日 体験しよう心理学ー心理学実験 玉越 勢治 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>11 月 8 日 病気になりやすい性格、なりにくい性格 深尾 憲二郎 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>11 月 22 日 心はどこまで体を支配しているかープラシーボの科学 深尾 憲二郎 氏（帝塚山学院大学人間科学部教授）</p> <p>11 月 29 日 子どもの発達障害と大人の発達障害 猪股 剛 氏（帝塚山学院大学人間科学部准教授）</p>
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 6 月 20 日、7 月 4 日、7 月 11 日、11 月 8 日、11 月 22 日、11 月 29 日

## 2023 年度 社会連携・地域貢献活動報告【リベラルアーツ学科】

実 施 者	稲川 右樹
活 動 名	李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修
イベント・番組・新聞雑誌名	李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修
主 催 者 ・ 発 行 元	国際交流基金関西国際センター
概 要	韓国で日本語を学習し、日本の社会文化に関心を持つ韓国の高校生 20 名を日本に招聘し、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めると共に、日本の同世代の青少年との交流を行う。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2024 年 1 月 24 日～2024 年 2 月 7 日

実 施 者	稲川 右樹
活 動 名	日本大学生訪韓団
イベント・番組・新聞雑誌名	日韓文化交流基金 2023 年大学生訪韓団
主 催 者 ・ 発 行 元	大韓民国教育部
概 要	日本全国から選抜された大学生約 40 名が韓国を訪問し、学生交流、ホームステイ、文化体験などを通じて韓国への理解を深めるとともに、日本の魅力（文化・国民性等）の発信、日韓の相互理解と信頼関係の増進に寄与する。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2024 年 3 月 10 日～2024 年 3 月 16 日

実 施 者	小幡 信
活 動 名	PLATZ BAL 出演
イベント・番組・新聞雑誌名	PLATZ BAL
主 催 者 ・ 発 行 元	神戸DJミーティング
概 要	神戸「三宮 PLATZ」で行われた野外複合イベントに選曲家としてDJで出演。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023年4月8日

実 施 者	小幡 信
活 動 名	Kobe DJ Meeting 出演
イベント・番組・新聞雑誌名	Kobe DJ Meeting
主 催 者 ・ 発 行 元	神戸DJミーティング
概 要	神戸「三宮 PLATZ」で行われた野外複合イベントに選曲家としてDJで出演。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023年5月5日、6月10日、7月8日、9月9日、11月25日、 2024年3月9日

実 施 者	喜家村 奨
活 動 名	京都府プログラミング研修
イベント・番組・新聞雑誌名	令和5年度京都府総合教育センター研修講座
主 催 者 ・ 発 行 元	京都府総合教育センター
概 要	micro:bitを用いた京都府の小学校教員に向けたプログラミング研修。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023年9月3日

実 施 者	喜家村 奨
活 動 名	小中学生のためのプログラミング教室
イベント・番組・新聞雑誌名	日本情報科教育学会 第22回研究会(併設)
主 催 者 ・ 発 行 元	NPO 法人学習開発研究所
概 要	伊丹市近隣の小中学生に向けたmicro:bitを用いたプログラミング教室。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2024年3月24日

実 施 者	杉本 喜孝
活 動 名	職業ガイダンス及び英語科教員対象講演会
イベント・番組・新聞雑誌名	高大連携
主 催 者 ・ 発 行 元	大阪府立鳳高等学校
概 要	大阪府立鳳高等学校との高大連携により、職業選択に関する講演会にて、高校1年生を対象に、大学の現状や大学教員の研究活動に関する講演を行った。また、英語授業改善研修の講師として、授業見学及び研究協議、指導・助言を行った。さらに、英語科教員を対象に英語多読授業の導入に関する情報交換を行った。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023年8月24日

実 施 者	永草 次郎
活 動 名	〈現代アートからの谷崎礼讃 一岩野勝人・日下部一司〉展トークイベント
イベント・番組・新聞雑誌名	芦屋市谷崎潤一郎記念館 2023 年秋の特別展「モノたちの物語り」展期間中「庭園+ロビー展示」特別企画
主 催 者 ・ 発 行 元	芦屋市谷崎潤一郎記念館
概 要	〈現代アートからの谷崎礼讃 一岩野勝人・日下部一司〉展にちなみ、参加した2人のアーティストとともに、ゲスト・キュレーターとして登壇した対話形式の講演会。同展について、アーティスト自らが特別展示した自作を解説する機会を設け、討議による考察を行い、参加者とともに展示の意義を見出し、鑑賞を深める場とした。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 11 月 26 日

## 2023 年度 社会連携・地域貢献活動報告【心理学科】

実 施 者	大本 浩司
活 動 名	「幸せランチ&スイーツ」での記事掲載
イベント・番組・新聞雑誌名	読売新聞（夕刊）
主 催 者 ・ 発 行 元	株式会社読売新聞大阪本社
概 要	スイーツ心理学の観点からジェラート屋さん「おいしいジェラート屋さん LAMP」を紹介した。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 7 月 3 日

実 施 者	大本 浩司
活 動 名	「ダース」の魅力をスイーツ心理学®の手法で解明！
イベント・番組・新聞雑誌名	森永製菓のニュースリリース
主 催 者 ・ 発 行 元	森永製菓株式会社
概 要	<p>産業心理学実習（スイーツ心理学）の取り組みとして、森永製菓株式会社とともにチョコレート「ダース」ならではの魅力を解明する研究を実施しました。本研究では、「ダース」の価値を明確化するために、人間中心設計（Human-centered Design）やユーザーエクスペリエンスデザイン（User Experience Design）で用いられている評価グリッド法※1 やシナリオ手法※2 等を組み合わせて用いました。</p> <p>約半年間にわたる研究の結果、「ダースは、甘さやミルク感が濃厚で、柔らかく食感が良く、満足感が強くて幸福感が得られるチョコレートである」ことが明らかになりました。</p> <p>成果発表では「ダース」の今後の展開アイデアについて森永製菓様へご報告しました。マーケティング担当の方からもコメントをいただき、学生にとって貴重な学びを経験できる取り組みとなりました。</p>
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 9 月 11 日

実 施 者	大本 浩司
活 動 名	[関心アリ!] 開けて楽しいクッキー缶…デザイン・価格多様 敷き詰めの美学
イベント・番組・新聞雑誌名	読売新聞の朝刊「くらし家庭面」
主 催 者 ・ 発 行 元	株式会社読売新聞東京本社
概 要	スイーツ心理学の観点からクッキー缶の魅力に関してコメントした。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023年12月12日

実 施 者	中村 早希
活 動 名	ちょこっと幸せ研究所「チョコレートで幸福度があがる？他のお菓子4種と比較調査」へのコメント掲載
イベント・番組・新聞雑誌名	ちょこっと幸せ研究所 公式ホームページ
主 催 者 ・ 発 行 元	株式会社ロッテ
概 要	調査結果へのコメントが株式会社ロッテ「ちょこっと幸せ研究所」の公式ホームページに掲載された。 <a href="https://www.lotte.co.jp/corporate/chocotto/article01/">https://www.lotte.co.jp/corporate/chocotto/article01/</a>
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2024年1月30日

実 施 者	中村 早希・大本 浩司・玉越 勢治・佐藤 安・アドミッションセンター（高宮 大輔・石橋 依世）
活 動 名	「学生を中心とした広報・マーケティング活動の実施、および、その効果検証に関する実践環境の構築」
イベント・番組・新聞雑誌名	「ゆる茶会&晶子ギャルみくじ」イベント
主 催 者 ・ 発 行 元	さかい利晶の杜・Cafe Lapin（カフェ ラパン）
概 要	本イベントは心理学科 産業心理学専攻の学生有志が堺の魅力 PR する取り組みとして企画から準備・運営までを行った。堺・山之口商店街内にある Cafe Lapin（カフェ ラパン）にて、「ゆる〜く」お抹茶や和菓子を楽しめるイベントを実施した。イベントでは、スイーツ心理学®とコラボ開発した和菓子を食べたり、お抹茶に濃い抹茶で絵を書いたり、与謝野晶子の短歌をギャル語訳したおみくじを楽しむことができた。また、映像研究部有志による堺の PR 動画の配信も行った。本イベントは学長裁量経費採択事業として資金援助を受けて実施された。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2024年3月3日

実 施 者	中村 早希
活 動 名	「スイーツ心理学「おやつとココロの、不思議な関係」
イベント・番組・新聞雑誌名	令和5年度いずみワクワク講座
主 催 者 ・ 発 行 元	和泉市男女共同参画センター
概 要	大阪・和泉シティプラザにて、スイーツと幸せの関わりについての心理学研究の講演を行った。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2024年3月26日

## 2023 年度 社会連携・地域貢献活動報告【食物栄養学科】

実 施 者	金田 直子
活 動 名	堺市宮園校区 子どもの生活習慣応援事業
主 催 者 ・ 発 行 元	堺市宮園校区まちづくり協議会
概 要	「はやおき、朝ごはん、歯磨き、元気にってきます！」をスローガンに掲げ、学童期の子どもたちにおける望ましい生活習慣形成に向け、朝食支援や歯磨き指導を地区組織が主体となり行っている事業であり、帝塚山学院大学の希望学生がボランティアとして参加するにあたり、その支援を行っている。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 4 月～2024 年 3 月

実 施 者	細川 雅也
活 動 名	第 20 回京都府糖尿病ウォークラリー大会
主 催 者 ・ 発 行 元	公益社団法人 日本糖尿病協会、京都府糖尿病協会、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
概 要	第 20 回京都府糖尿病ウォークラリー大会にグループで参加させていただいた。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 10 月 29 日

実 施 者	南野 幸生
活 動 名	当院における食事運動生活習慣の理想化指導の現状と展望
イベント・番組・新聞雑誌名	第 11 回食事運動生活習慣をよりよくする会
主 催 者 ・ 発 行 元	食事運動生活習慣をよりよくする会
概 要	箕面市後援によるメタボ・生活習慣病予防のための講演会として「当院における食事運動生活習慣の理想化指導の現状と展望」の講演を行った。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 11 月 18 日

## 2023 年度 社会連携・地域貢献活動報告【基盤教育機構】

実 施 者	小谷 恭子
活 動 名	カレッジコミュニティ
イベント・番組・新聞雑誌名	さやマルシェ
主 催 者 ・ 発 行 元	大阪狭山市
概 要	さやマルシェの企画を考え運営をおこなう。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 10 月 28 日

## 2023 年度 社会連携・地域貢献活動報告【大学院】

実 施 者	大堀 彰子
活 動 名	思春期の心 その発達に大切なこと
イベント・番組・新聞雑誌名	京都暁星高等学校公開講演
主 催 者 ・ 発 行 元	京都暁星高等学校
概 要	情報機器があふれる現代社会が、関係を築き、その中で生きることの苦手な子どもたちに対して、保護者や教員が必要な視点についての講和を行った。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 4 月 29 日

実 施 者	大堀 彰子
活 動 名	環境変化の心への影響
イベント・番組・新聞雑誌名	泉北 de 子育て！子供の育ち応援セミナー
主 催 者 ・ 発 行 元	南海電鉄・堺市南区子育て支援課・帝塚山学院大学共催
概 要	“子どもがいきいきと育ち、育てられるまちにしよう！”をテーマに、南海電鉄、堺市南区子育て支援課、本学大学院が共催する子育て応援企画です。本学大学院の教員および堺市南区子育て支援課職員によるお話しと、事前に受け付けた質問の中から声が多かった悩みに対して答える相談タイムからなる、子どもの気持ちを理解し、子育ての悩みを解決するおはなし会です。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 6 月 30 日

実 施 者	大堀 彰子
活 動 名	晴美台中学校区 3 校合同研修会
イベント・番組・新聞雑誌名	「子どもの発達について」-発達に課題を持つ児童生徒・保護者への心理支援
主 催 者 ・ 発 行 元	はるみ小学校
概 要	「子どもの発達について」-発達に課題を持つ児童生徒・保護者への心理支援として講和を行った。
活 動 実 施 日 ・ 期 間	2023 年 7 月 27 日